

目 次

・ 総合研究報告	
医療安全対策の最新のエビデンスと今後の政策課題についての研究-----	1
長谷川友紀	
（資料 1-1）医療安全管理の専門家を対象とした調査（専門家調査）	
（資料 1-2）専門家調査の集計結果	
（資料 2-1）全国の病院を対象とした調査（全国調査）	
（資料 2-2）全国調査の集計結果	
（資料 3-1）OECD 加盟国の医療安全政策担当者を対象とした調査（国際調査）	
（資料 3-2）Patient Safety Policies – Experiences, Effects and Priorities; Lessons from OECD Member States – (Version 2.0)	
（資料 4-1）米国の医療安全管理活動の現況に関する調査（海外調査）	
（資料 4-2）Certified Professional in Healthcare Risk Management, CANDIDATE HANDBOOK AND APPLICATION	
（資料 4-3）ASHRM Professional Recognition Checklist	
（資料 4-4）Concurrent Sessions of ASHRM 2017 Annual Conference	
（資料 5-1）医療安全管理活動のエビデンスに関する文献調査（文献調査）	
（資料 5-1-1）施設間の Hand Over（施設間の患者情報の伝達）	
（資料 5-1-2）超音波ガイド下中心静脈カテーテル挿入	
（資料 5-1-3）WHO 手術安全チェックリスト	
（資料 5-2-1）バーコードによる照合システムに関する文献調査	
（資料 5-2-2）バーコードによる照合システム 採択文献一覧	
（資料 5-2-3）労働量に関する文献調査	
（資料 5-2-4）労働量 採択文献一覧	
（資料 5-2-5）Rapid Response System (RRS)、Rapid Response Team (RRT)、 Medical Emergency Team (MET)に関する文献調査	
（資料 5-2-6）Rapid Response System (RRS)、Rapid Response Team (RRT)、 Medical Emergency Team (MET) 採択文献一覧	
（資料 5-2-7）医療安全の e ラーニングに関する文献調査	
（資料 5-2-8）医療安全の e ラーニング 採択文献一覧	
（資料 5-2-9）転倒転落のリスク評価に関する文献調査	
（資料 5-2-10）転倒転落のリスク評価 採択文献一覧	
（資料 5-2-11）周術期の投薬方法の標準化の費用対効果に関する文献調査	
（資料 5-2-12）周術期の抗血栓薬と抗菌薬の投与方法の標準化（周術期の投薬方 法の標準化）の経済評価 採択文献一覧	
・ 研究成果の刊行に関する一覧表-----	8